

研究会, 1986, 6, 甲府.

61) 古谷田裕久, 森田 英, 康山俊学, 樋口清博, 井上恭一, 佐々木博: 急性肝不全と亜急性肝炎の異同についての臨床病理学的検討. 第12回急性肝不全治療研究会, 1986, 6, 甲府.

62) 舟木 淳, 島田一彦, 藤倉信一郎, 田中三千雄, 佐々木博, 元尾南洋, 能澤明宏, 本間 保: ベーチェット病に併存した大腸炎の1例. 第2回北陸大腸疾患研究会, 1986, 11, 金沢.

63) 青山圭一, 小島 隆, 松井俊二郎, 宮林千春, 清水幸裕, 南部修二, 樋口清博, 井上恭一, 佐々木博: 各種肝疾患における肝組織内 Interleukin 2 receptor⁺ リンパ球の免疫組織学的検討. 第17回消化器と免疫研究会, 1986, 2, 東京.

64) 泉野 潔, 藤田益雄, 浅香充宏, 中尾義広, 飯田博行, 西村信行, 樋口清博, 井上恭一: ネフローゼ症候群を伴った劇症肝炎の1例. 第34回中部腎臓病談話会, 1986, 9, 名古屋.

64) Ichida T., Shiratori Y. and Wisse E.: Cytoskeletal function of cultured Kupffer cells during phagocytosis. The 36th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD), 1985, 11, Chicago. (昭和60年度追加)

65) Ichida T., Shiratori Y. and Wisse E.: On the structure and function of the cytoskeleton in phagocytosing Kupffer cells. Third International Kupffer Cell Symposium, 1985, 9, Strasbourg. (昭和60年度追加)

皮膚科学

教 授	諸 橋 正 昭
講 師	池 田 和 夫
講 師	高 橋 省 三
講 師	須 藤 成 章
助 手	小 西 可 南
助 手	檜 垣 修 一
助 手	関 太 輔
助 手	齊 藤 明 宏
助 手	春 木 智 江
助 手	松 井 千 尋
文部技官	松 永 憲 治

◆ 著 書

1) 諸橋正昭: 脂漏性皮膚炎. 「皮膚疾患最新の治療'87-'88」 西山茂夫, 島雄周平, 堀 嘉昭編, 28

—29, 南江堂, 1986.

2) 諸橋正昭: 凍瘡. 「今日の治療指針1986年度版」日野原重明他編, 592, 医学書院, 1986.

3) 諸橋正昭: Erythema dyschromicum perstans. 「皮膚科 Mook —色素異常症—」堀 嘉昭編, 214—220, 金原出版, 1986.

4) 諸橋正昭: 金属による色素沈着. 「皮膚科 Mook —色素異常症—」堀 嘉昭編, 292—299, 金原出版, 1986.

5) 諸橋正昭: 土肥鱗状毛包角化症 keratosis follicularis squamosa (Dohi). 「講談社皮膚科診断治療大系・別巻A—冠人別疾患・症候群—」福代良一他編, 100, 講談社, 1986.

6) 小西可南, 諸橋正昭: 皮膚疾患の漢方療法. 「皮膚科 Mook —皮膚科最近の治療法—」大城戸宗男編, 211—221, 金原出版, 1986.

7) 五十嵐良一, 須藤成章: 脱毛症. 「皮膚免疫組織アトラス」植木宏明, 矢尾板英夫編, 115, 南江堂, 1986.

◆ 原 著

1) Sudo S. and Morohashi M.: A comparative immunohistochemical study of adult T-cell leukemia and cutaneous T-cell lymphoma. J. Dermatol. 13: 460—463, 1986.

2) Shindo Y., Mikoshiba H., Okamoto K. and Morohashi M.: Verruciform xanthoma of the scrotum. J. Dermatol. 12: 443—448, 1985.

3) 諸橋正昭: 脂線細胞の結晶様構造. 皮膚 28(6): 787—788, 1986.

4) 小西可南, 諸橋正昭: 尋常性座瘡に対する漢方薬の基礎的研究第1報—Propionibacterium acnes に対する漢方エキス剤感受性—. 漢方医学 10(7): 14—20, 1986.

5) 関 太輔, 諸橋正昭, 中村雄彦: 髄膜炎を伴った帯状疱疹. 皮膚病診療 8(6): 547—551, 1986.

6) 松井千尋, 高橋省三, 諸橋正昭, 浅香充宏, 平井 寛: リュウマチ性筋痛症 (polymyalgia rheumatica) を合併した遺伝性出血性毛細血管拡張症. 皮膚科の臨床 28(9): 111—115, 1986.

7) 松井千尋, 高橋省三, 諸橋正昭: Proliferating trichilemmal cyst. 皮膚病診療 8(5): 439—442, 1986.

8) 宮入宏之, 齊藤明宏, 諸橋正昭, 山下直宏, 矢野三郎: IgA(x)型骨髓腫を伴った角層下膿疱症. 皮膚科の臨床 28(4): 181—185, 1986.

9) 須藤成章, 齊藤明宏, 諸橋正昭, 窪田芳樹: Pre-B cell lymphoma と思われる malignant

lymphoma の 1 例。皮膚のリンホーマ V (山田瑞穂編) 122—125, 皮膚リンホーマ研究会, 1986.

10) 小西可南, 高橋省三, 池田和夫, 諸橋正昭, 日戸平太: エックリン汗腺癌。日本皮膚病理研究会誌 1985, 59—62, 1986.

11) 佐貫大三郎, 杉本浩子, 高橋省三, 池田和夫, 諸橋正昭: 生薬配合ステロイド剤の実験的接触アレルギー反応における検討。皮膚科紀要 81(4): 581—587, 1986.

12) パッチテスト研究班, 諸橋正昭, 小西可南, 檜垣修一: ヘアダイパッチテスト成績および黒皮症患者の推移。皮膚 28: 142—148, 1986.

13) パッチテスト研究班, 諸橋正昭, 小西可南, 檜垣修一: 化粧品アレルギー陽性頻度(1984)。皮膚 28: 93—100, 1986.

14) パッチテスト研究班, 諸橋正昭, 小西可南, 檜垣修一: 1984年度本邦標準アレルギーの検討。皮膚 28: 58—65, 1986.

15) 長谷川隆, 小林まさ子, 寄藤和彦, 伊藤達也, 吉田秀史, 岩崎光順, 松井千尋, 大類聡明: 眼瞼部皮膚腫瘍切除後の皮膚欠損に対する open treatment。西日本皮膚科 48(4): 715—719, 1986.

16) 松井千尋, 大類聡明, 岩崎光順: 第 1 期頭症梅毒の 4 例。旭中央病院医報 8(1): 26—28, 1986.

17) 岩崎光順, 松井千尋, 押尾好浩, 桑島齊三: Acquired lymphangioma の 1 例。旭中央病院医報 7(1): 104—105, 1985.

18) 春木智江, 池田和夫, 諸橋正昭: 皮膚科領域における DV-17 クリームの臨床成績。医学と薬学 13(5): 1072—1078, 1985.

19) 檜垣修一, 小西可南, 諸橋正昭, 寺沢捷年: 当科における和漢外来の現況第 5 報—皮膚疾患と証との検討一。和漢医薬学会誌 2(3): 652—653, 1985.

20) 高橋省三, 宮入宏之, 池田和夫, 檜垣修一, 諸橋正昭: 実験的面皰に対する和漢薬の抗面皰作用。和漢医薬学会誌 2(3): 686—687, 1985.

◆ 総 説

1) 諸橋正昭, 小西可南: 多毛。「症候から診断へのプロセス」臨床医 12 (増刊号): 1677—1683, 1986.

2) 諸橋正昭, 池田和夫: あせも, 汗疱。「日本臨床 1986 年秋季増刊新訂版, 最新薬物療法 manual—投薬の基本と治療プログラム—」日本臨床 44(550): 1141—1142, 1986.

3) 諸橋正昭, 西山茂夫: 座談会「学会ハイライト・第 36 回日本皮膚科学会中部支部総会学術大会か

ら」。皮膚病診療 8(2): 118—124, 1986.

4) 朝田康夫, 武田克之, 大河原章, 諸橋正昭, 小川秀興, 西岡 清: 座談会「難治性皮膚疾患と漢方療法—掌蹠膿疱症, 乾癬, 皮膚瘙癢症をめぐって—」。漢方医学 10(7): 1—13, 1986.

5) 小川秀興, 諸橋正昭, 寺沢捷年: 座談会「皮膚疾患と漢方」(日本短波放送・放送内容集・61年 1 月 3 日放送)。1—17, 協和企画, 1986.

6) 諸橋正昭, 小西可南: 尋常性痤瘡—最新の漢方治療指針第 1 報一。日本医師会誌, 61年 11 月 15 日号.

7) 諸橋正昭: 質疑応答「白髪の原因, 防止法, 白髪染の作用」。日本医事新報 3261: 128—129, 1986.

8) 諸橋正昭: 質疑応答「脱毛症」。ジャストヘルス 42(12): 10—11, 1986.

9) 小西可南: 質疑応答「あせも治療の桃葉の効果」。日本小児皮膚科学会誌 5(1): 44, 1986.

◆ 学会報告

1) 諸橋正昭: 会頭講演「痤瘡の病因と治療に関する 2, 3 の問題」。第 37 回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 1986, 9, 富山.

2) Morohashi M.: Skin diseases and oriental medicine (Educational Lecture). 4th International Congress of Pediatric Dermatology. Satellite Session Japanese Kampo Medicine, 1986, 6, Tokyo.

3) 高橋省三: シンポジウム「表皮内非角化細胞・最近の動向」, パーベック顆粒の生物学的意義。第 37 回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 1986, 9, 富山.

4) 小西可南: シンポジウム「皮膚科治療の最近の進歩」, 漢方療法。第 37 回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 1986, 9, 富山.

5) 小西可南, 諸橋正昭, 山岸高由: Propionibacterium acnes に対する和漢薬の検討。第 85 回日本皮膚科学会学術大会, 1986, 4, 京都.

6) 須藤成章, 齊藤明宏, 諸橋正昭: 肉芽腫疾患における免疫組織学的検討。第 85 回日本皮膚科学会学術大会, 1986, 4, 京都.

7) 齊藤明宏, 松井千尋, 諸橋正昭: 足底にみられた金による扁平苔癬様薬疹。第 85 回日本皮膚科学会学術大会, 1986, 4, 京都.

8) 池田和夫, 小西可南, 檜垣修一, 春木智江, 諸橋正昭: 尋常性乾癬と証との検討(漢方セッション)。第 85 回日本皮膚科学会学術大会, 1986, 4, 京都.

9) 小西可南, 諸橋正昭: 痤瘡の和漢薬治療に関

する基礎的研究(第2報). 第3回和漢医薬学会学術大会, 1986, 8, 東京.

10) 齊藤明宏, 諸橋正昭: 和漢薬の抗面皰作用に対する組織化学的検討. 第3回和漢医薬学会学術大会, 1986, 8, 東京.

11) 齊藤明宏, 松井千尋, 池田和夫, 諸橋正昭: 和漢薬が原因と考えられた扁平苔癬様薬疹. 第37回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 1986, 9, 富山.

12) 春木智江, 須藤成章, 諸橋正昭: Lichen aureus. 第37回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 1986, 9, 富山.

13) 籠浦正順, 須藤成章, 諸橋正昭: 尋常性乾癬に合併した SLE の1例. 第320回日本皮膚学会北陸地方会, 1986, 9, 金沢.

14) 齊藤明宏, 須藤成章, 諸橋正昭: 当教室における水疱性疾患の免疫組織学的検討. 第7回富山免疫アレルギー研究会, 1986, 2, 富山.

15) 関太輔: Erosive pustular dermatosis of the scalp (EPDS) の1例. 第318回日本皮膚科学会北陸地方会, 1986, 2, 金沢.

16) 関太輔: Follicular mucinosis 様変化を伴った eosinophilic pustular dermatosis の1例. 第319回日本皮膚科学会北陸地方会, 1986, 9, 金沢.

17) 関太輔, 柴原直利: Weber-Christian 病の1例. 第320回日本皮膚科学会北陸地方会, 1986, 9, 金沢.

18) 関太輔, 勝山 豪: Riga-Fede 病の3例. 第22回日本皮膚科学会北信越合同学会, 1986, 11, 松本.

19) 齊藤明宏, 須藤成章: 菌状息肉症の1例. 第22回日本皮膚科学会北信越合同学会, 1986, 11, 松本.

20) 春木智江: Dysplastic nevus の1例. 第318回日本皮膚科学会北陸地方会, 1986, 2, 金沢.

21) 春木智江, 須藤成章, 高橋省三, 富川正樹, 上山武史: Klippel-Trenaunay-Weber 症候群の1例. 第319回日本皮膚科学会北陸地方会, 1986, 6, 金沢.

22) 春木智江: サルコイド反応の1例. 第321回日本皮膚科学会北陸地方会, 1986, 12, 福井.

23) 籠浦正順, 齊藤明宏, 高橋省三: 小児腹壁遠心性脂肪萎縮症の1例. 第319回日本皮膚科学会北陸地方会, 1986, 6, 金沢.

24) 籠浦正順, 齊藤明宏: Nodular fasciitis の1例. 第321回日本皮膚科学会北陸地方会, 1986, 12, 福井.

◆ その他

1) 諸橋正昭ほか: 皮膚疾患と漢方(座談会). 「現代の医学'86」, 日本短波放送, 1986, 1.

2) 諸橋正昭: 痤瘡の病因と治療. 「マルホ皮膚科セミナー」, 日本短波放送, 1986, 9.

3) 諸橋正昭: 尋常性痤瘡. 「最新の漢方治療指針」, 日本短波放送, 1986, 12.

4) 諸橋正昭: 皮膚疾患と和漢薬(特別講演). 昭和61年度千葉大・千葉皮膚科医会合同臨床談話会, 1986, 5, 千葉.

小 児 科 学

教 授	岡 田 敏 夫
助 授	鈴 木 好 文
講 師	樋 口 晃 邦
講 師	谷 沢 隆 夫
助 手	小 西 徹 夫
助 手	五 十 嵐 隆 夫
助 手	嶋 尾 智 正
助 手	谷 守 正 則
助 手	原 正 則 進
助 手	稲 場 進 志
文部技官	永 田 仁 志

◆ 著 書

1) 岡田敏夫: ナースのための小児科学. 249—259, 中外医学社, 1986.

2) 鈴木好文: 小児の急性糸球体腎炎. 「今日の治療指針」, 日野原重明他編, 696—697, 医学書院, 1986.

3) 松井 晶, 石和好美, 鈴木真奈美, 毛利尚毅, 竹中恒久, 岡田敏夫, 篠原治道, 松田健史: 小児の超音波診断～腎尿路～. 「小児科MOOK 増刊1」馬場一雄他編, 304—327, 金原出版, 1986.

◆ 原 著

1) 谷沢隆邦, 三浦一枝, 浅田礼子, 松倉裕喜, 馬瀬大助, 稲場 進, 谷 守正, 原 正則, 樋口晃, 岡田敏夫: 小児期膜性増殖性糸球体腎炎 I 型に対するカクテル療法の効果 ～臨床像と経時的生検像による評価～. 日本腎臓学会誌 28: 401—412, 1986.

2) Masanori Hara, Daisuke Mase, Susumu Inaba, Akira Higuchi, Takakuni Tanizawa, Noriaki Yamanaka, Yuichi Sugisaki, Yoshikazu Sada, and Toshio Okada: Immunohistochemical localization of glomerular basement membrane